

# のぼりべつ こども環境サミット

6月28日(土)、北海道洞爺湖サミットに先駆け、『ガス出すな地球のさけび 聞こえるか!~わたしたちができる地球への思いやり~』をテーマに『のぼりべつ こども環境サミット』が開催されました。

同サミットに参加した小学生は、各国の首脳にも負けない熱意で、環境問題について取り組んでいました。

今月号では、『のぼりべつ こども環境サミット』と同サミットに引き続き開催された環境講演会についてお知らせします。



## のぼりべつ こども環境サミット

### 『地球への思いやり』 環境に関する情報交換を

『のぼりべつ こども環境サミット』は、子どもたちが環境について学習していることや校区内で実践している活動などを発表し、一つの『環境宣言』という目標をつくり、これからの環境保全活動をより活発に行ってもらおうと開催され、市内全小学校(8校)から24人(各校3人)が参加しました。また、北海道胆振支庁による『胆振地域3R推進フェア』や市内在住の米田恵美さんによる『リサイクルアート展』も同時開催されました。

### 地球温暖化って何だ? のぼりべつこども環境家計簿のススメ

参加した児童は、はじめに事前学習として、地球温暖化の仕組みや地球温暖化が及ぼす影響、家庭でできる地球温暖化防止対策として市が作製した『のぼりべつ こども環境家計簿』の活用方法を学びました。

こども環境サミットは、同サミットのメインテーマの環境標語をつくった青葉小学校6年小林純也君が標語に込めた思いを述べ、『ガス出すな 地球のさけび 聞こえるか』の発声で開幕しました。

### 学校で行っている環境に関する活動を発表



▲開幕宣言を行った小林純也君

開幕宣言に続き、北海道地球温暖化防止活動推進員の石原千鶴さんの進行により、市内8校の児童が、「学校にたくさんのお木や花を植えています」(幌別小学校)、「幌別川の生き物から水の汚れを調べました」(幌別西小学校)、「ひなわし学習で山や海岸の清掃活動をしています」(鶯別小学校)、「リングプルで車いすを寄付できました」(登別小学校)、「サケの学習で命の大切さを学んでいます」(富岸小学校)、「児童全員で環境について話し合っています」(幌別東小学校)、「小さな虫から川の水質を教わりました」(若草小学校)、「青葉の森から自然の仕組みを学びました」(青葉小学校)など、学校での学習内容や活動、目標などを発表しました。会場に訪れた方には、ユニークな学習内容や熱心な活動に感心していました。

### 実験・体験学習に笑顔と歓声

北海道環境科学研究センターの職員